

事業所名

はじめのいっぽ弥生

支援プログラム

作成日

令和6年

8月

1日

法人（事業所）理念		・家庭的な雰囲気の中「自然・食育・生活」を中心とした療育を行い、基本的な生活習慣を身につけられるよう支援します。・一人ひとりの個性を尊重し「ゆっくり、じっくり、ていねいに」子どもと関り、それぞれの成長や発達を信じて待ちます。・仲間を認め、助け合う経験などを通じ、集団生活や地域社会へ適応できるよう支援します。						
支援方針		・住み慣れた町で、安心した日常生活が営めるよう「衣・食・住」を中心に様々な経験を積み重ね、基本的な生活習慣の自立を促し、自信へとつなげる。・一人一人の個性、成長、発達段階を見極め、“ゆっくり、じっくり、ていねいに”関りながら、興味関心を把握し、個々に適した療育を行う。・仲間を認め、助け合い、数々の学びより、集団生活や地域生活への適応が出来るよう支援する。						
営業時間		14時	0分から	17時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容								
本人支援	健康・生活	・日々の食事やおやつ作りの手伝いを通し、食材や調理過程に関心を持ったり、栄養バランスなどを学んだり、命あるものを頂いているという謙虚な気持ちを育む。						
	運動・感覚	・様々な遊びに興味関心を持ち、できないことにも挑戦する中で、楽しみながら体力や体幹が鍛えられるよう環境を整える。						
	認知・行動	・読み・書き・計算をスムーズに出来るようになる。・感情コントロールが出来るようになる。・状況判断能力の向上に向けた支援。						
	言語 コミュニケーション	・適切な言語表現が出来るようになる。・他者の気持ちがわかるようになる。						
	人間関係 社会性	・他者との遊びや共同作業などを通して、協力して成し遂げた楽しさや達成感を味わうことができるような環境を整える。						
家族支援		・本人が自分で考えたり、自我をコントロールする力が身につけられるよう、具体的な方法をお伝えし、実践していただく。・ペアレントトレーニングを学び、実践していただく。			移行支援		・必要に応じて小学校・中学校の担当者と情報交換などを行い、行事など普段と異なる活動の際の、子どもとの関りについて、具体的ななかかわり方のモデルを示す。	
地域支援・地域連携		・地域のゴミ拾いや草刈りなどの環境整備をし、地域の方との連携に努めている。			職員の質の向上		・市町村主催の研修などに参加。社会福祉協議会主催の研修への参加。虐待防止の研修への参加。定例会議で情報共有。	
主な行事等		・ピクニック・登山・いっぽ食堂・いっぽ祭り・電車の旅・炊事遠足・収穫祭・餅つき大会・クリスマス会・人形劇・雪中運動会・節分・味噌づくり・音楽コンサート						